



Japan Game Fish Association



2018.June



Today's Member

名誉会長
岡田 順三



副会長
前田 利幸



JGFA設立者のひとり。1999～2010年まで会長を務め、2011年より名誉会長。

学生時代に磯からの遠投のイシダイ釣りを開拓、その後カジキ釣り、スズキのルアーフィッシング、沖釣りのヒラメ、淡水のマブナ釣りにいたるまで、幅広くこなす。日本人で初めて1,000ポンドオーバーのカジキを釣る。（オーストラリア・1,245ポンド・シロカジキ・1987年）

2012年度「日本釣りジャーナリスト協議会」より、日本の釣り界発展に貢献した関係者に贈られる「FJC賞」を受賞した。

IGFA終身会員・JGFA終身会員
公益財団法人「日本釣振興会」評議員
「釣りビジョン」番組審議委員
クラブ名：マーメイドアングラーズクラブ

主にビッグゲーム部門を担当。

トローリングについては、漁協、行政、地元との関係を取りまとめ、静岡県、東京都の承認制を得るために多大な貢献を果たした。下田のカジキ釣り大会に関しても大会会長代行を務めるなど、精力的にイベントを切り回す。JGFAの中でボートオーナーの中心的な存在である。国際水産資源研究所とのカジキに関する「ポップアップタグ（衛星追跡型タグ）」調査に協力し、下田大会においてクロカジキに同タグを装着。そのタグの回収によって日本に回遊するクロカジキの移動に関する貴重なデータを得た。

JGFA・ボートオーナー連絡会・東日本副幹事長。
ボート：アドミラルのキャプテン。
クラブ名：アドミラルフィッシングクラブ

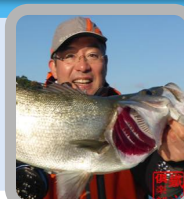
Today's Member



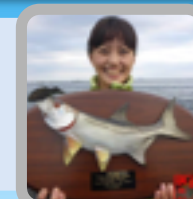
事務局長
若林 務



理事
斉藤 悦朗



理事
北川 真理



ルアーフィッシング、沖釣り中心。フライフィッシングも少し。

1990年JGFA事務局入りして以来、IGFAおよび海外との連絡窓口となる。世界記録認定作業を中心に常時、IGFAとの緊密な連携を取っている。

IGFAワールドフィッシングセンターには、2006年、JGFA初代会長・大西英徳氏のIGFA殿堂入りセレモニーの際に訪問。

1985年、JGFAに入会以来タグ&リリース・プログラムを企画、展開。タグ&リリースの啓蒙とそのデータ管理システム構築を行いました。その業績から、1998年、IGFAからゲームフィッシュや釣り場の保全、保護育成に世界レベルで貢献した人、団体へ贈られる賞「IGFA Conservation Award (コンサーベーション・アワード/保全賞)」を日本人で初めていただきました。今後は海外の優れた遊漁管理システムを折に触れ日本に紹介しつつ、JGFAのスローガン「いい釣りをいつまでも。」にのっとり、未永く釣りが楽しめる土台作りを目指していきます。

日本の草創期を代表するソルトウォーターフライフィッシャー。1987年に、IGFAルールによるフライフィッシングでコスタリカのターポンに挑戦し以降、記録を求めて海外のフィールドに遠征開始。

これまでに11件の世界記録、多数の日本記録を樹立。日本のソルトフライフィッシングにおけるトップアングラーであり、とりわけスーパーウルトラライトティベットでの妙技は右に出る者はいない。

●国際キャスティングスポーツ協会 (ICSF) 所属選手 (通算35年)

● 2018 : 2017年度ソルトフライ部男性部門 第1位 達成 (男性初)

● 2017 : よりゲームフィッシングに焦点を合わせるため鉄心倶楽部に改名

● 2015 : JCFキャスティング倶楽部として、JGFA公認クラブを設立しリーダーを務める。トーナメントキャスターをゲームフィッシングに取り入れることに多大な貢献を果たす

● 1983 : IGFA/JGFAに入会

幼少時に釣りを始め、2004年にフライフィッシングに出会う。これまでに30件の世界記録を樹立してきた。

● 2018: 2017年度女性ソルトフライ部門 第1位達成

★ 2017: JGFA理事就任

● 2015: 2014年度女性ソルトフライ部門 第1位達成 (第1位は日本人初)

● 2016: 2016年 JGFA MVP 受賞

★ 2015: JGFAアンバサダー就任

◆ 2014: マリンジャーナリスト大賞受賞

◆ 2014: アジアパリンピック セーリング種目 銀メダル獲得 (日本障害者セーリング史上初のメダリスト)

● 2012: 女性フライロッド部門において第2位を達成し、フロリダIGFAホールの表章式に参加する

● 2009: IGFA/JGFAに入会

About JGFA : (Japan Game Fish Association)



◆ 設立：1979年

創業者と初期コアメンバー（現在の岡田順三名誉会長、故大西英徳元会長、西川龍三元副会長）がハワイ国際カジキ釣り大会（HIBT）に参加していた時に、HIBTの創設者であるピーター・フィシアン氏と知り合い、意気投合。当協会の結成に尽力しました。協会としての設立は1979年です。当初数十人だった会員数も、現在は3,000名を超え、世界有数の釣り団体となりました。

◆ 設立目的：

- IGFAルール の 促進活動
- トーナメント、大会の開催支援
- セミナーの開催
- オリジナルグッズの販売
- 関連書籍の発行
- 釣魚保全活動（タグアンドリリースの啓発）
- 記録管理



会員数

Age/ Gender	>20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~	unknown	Total
Total	51	99	326	914	815	368	477	3,050
Male	48	93	305	855	762	344		
Female	3	6	21	59	53	24		
(# of IGFA)	2	6	18	70	126	76	82	380

As of	1979	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2018
# of membership	60	500	1,300	3,100	4,870	4,390	3,630	3,130	3,050

As of 2018.06

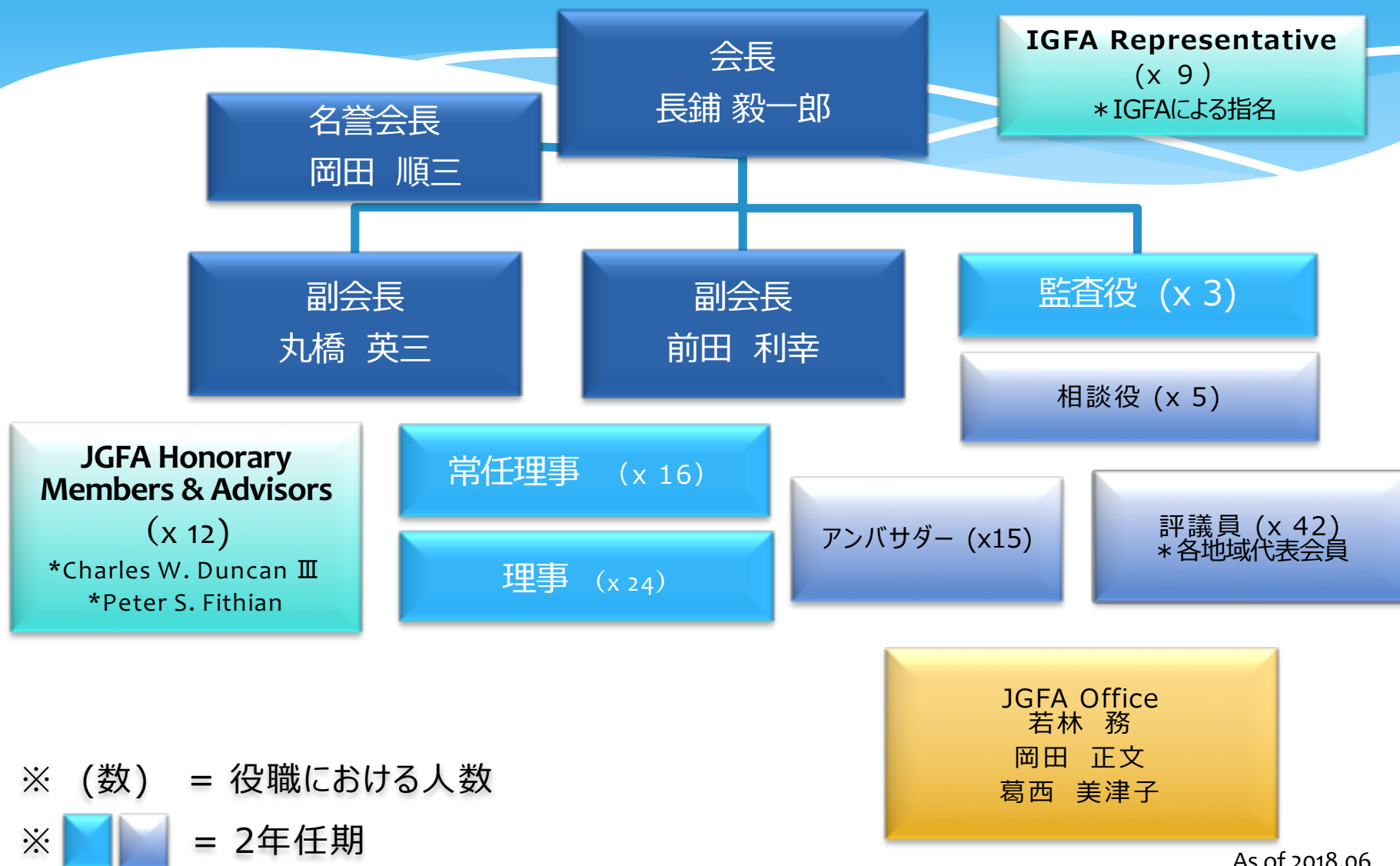


JGFA 会員特典

- * IGFAルールに基づく日本記録、世界記録申請が無料。
- * JGFAイヤーズブック(年鑑)、JGFA News（会報）、イベント案内が送付されます。
- * JGFA主催トーナメントへの参加資格が得られます。
- * JGFAタグ&リリースプログラムに参加できます。(タグの無償配布はサポート会員を除くレギュラー会員以上の会員に限られます。)
- * 入会時に入会セットが届きます。(会員証、イヤーズブック、会報、ワッペン、ステッカー、IGFAルールブック、その他)
- * 会員更新時にJGFAステッカーが届きます。



Officer and Organization



委員会



#	委員会	開催頻度	平均参加者数	今年度の主な活動
1	常任理事会	随時	15	・経営戦略・記録関係ルール審議
2	理事会	各月	24	・各案件の審議、承認
3	財務委員会	随時	5	・予算作成・経営状況確認
4	審査委員会	毎月	5	・日本記録審査・世界記録申請援助
5	会員拡大	随時	10	・入会促進・イベント企画・ジュニア対応・フィッシングショー＆ボートショー企画
6	釣魚保全	各月	4	・バググリミットの改定：バググリミット序文の策定・釣魚保全感謝状プロジェクト企画運営
7	BOL・幹事会(全国幹事会、各ブロック幹事会)	随時	20	・各ブロック間のイベント日程調整・各ブロックのトーナメント企画
8	JIBT実行委員会	随時	20	・開始要項作成・40周年記念イベントの計画
9	40周年事業委員会	随時	10	・40周年記念グッズの企画・40周年特別イベントの開催(東京湾シーバスリーグ・シンポジウムの開催・40周年記念パーティ)



参考資料

- ① JGFA日本記録の認定&保管と世界記録の申請援助
-参考:「日本記録賞状」
- ② 釣魚保全感謝状概要
-参考:「感謝状」
- ③ 「タグ アンド リリース ガイドブック」
- ④ 「バググリミット 序文」

【JGFA日本記録の認定&保管 世界記録の申請援助】



JGFAは発足した1979年以降、世界共通、唯一の釣りのためのルール、「IGFAルール」にのっとり、JGFA日本記録の認定&保管、IGFA世界記録の申請援助を行ってきました。

2017年末現在、記録上に残っている日本記録は1,870件(うち女性411件)で、累積認定件数は4,263件におよびます。記録の詳細については、JGFAホームページ、毎年発行するJGFAイヤブック、年4回発行する会報で紹介しています。

2017年、IGFAルールに設定された「最低重量基準」は踏襲していません。

最近10年間の世界記録申請件数は、合計391件におよびます。(以下、年ごとの内訳)

CY	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
世界記録 申請数	49	48	28	38	23	36	25	37	50	57



釣魚保全感謝状概要

1. JGFA釣魚保全賞の目的：

NPO法人ジャパンゲームフィッシュ協会(JGFA)として、ゲームフィッシュ（釣り対象魚）の資源保全に貢献した団体、個人、遊漁船等を表彰することにより、釣り界ならびに一般社会への当協会の存在、ならびに釣り対象魚の資源保全の大切さおよびその理念の浸透をうながすことを目的といたします。

2. 募集の対象者：

- ・JGFA会員、非会員を問わず、釣魚保全に貢献した団体、個人、遊漁船等
- ・当協会の提示するバググリミット以上の内容を公表し、実施していること
(「バググリミットの意義・目的(序文)」およびバググリミット表参照のこと)

3. 推薦方法と推薦状の送付期限：

下記の推薦用紙に記入の上、2018年6月30日までにJGFA事務局に郵送、FAX、メール等でお送りください。
期限を過ぎたものは無効となりますのでご注意ください。

4. 推薦者の資格：

JGFA会員からの推薦とさせていただきます。

5. 表彰対象者の人選：

推薦された候補者は、JGFA正副会長および釣魚保全委員会委員で構成する選考委員会(委員長はJGFA会長)によって審査、選出されます。

6. 表彰：

表彰者は理事会の承認を得て、2018年10月14日のJGFA40周年記念パーティーの場で表彰されます。
(表彰状を授与)

